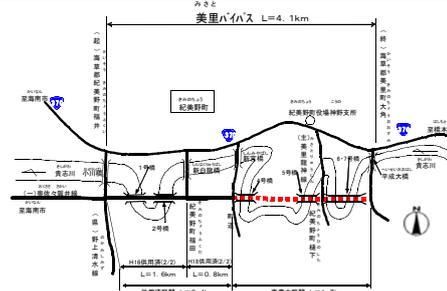


## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道370号 <sup>みさと</sup> 美里バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 和歌山県
<b>起終点</b> 自：和歌山県海草郡紀美野町福井 至：和歌山県海草郡紀美野町大角	<b>延長</b> 4.1 km	
<b>事業概要</b> 一般国道370号は海南市を起点とし、紀伊半島を横断しながら奈良県奈良市に至る延長約100kmの幹線道路である。美里バイパスは、一般国道370号の幅員狭小区間及び線形不良区間、異常気象時通行規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長4.1kmの2車線道路である。		
<b>H11年度事業化</b> 都市計画決定なし		<b>H11年度用地着手</b> H11年度工事着手
<b>全体事業費</b> 60億円	<b>事業進捗率</b> 76%	<b>供用済延長</b> 2.4km
<b>計画交通量</b> 2900台/日		
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 4.1	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 15/68億円 (事業費：13/65億円) (維持管理費：1.5/3.6億円)	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 60/149億円 (走行時間短縮便益：59/146億円) (走行経費減少便益：1.1/2.7億円) (交通事故減少便益：0/0.32億円)
<b>基準年</b> 平成20年度		
<b>感度分析の結果</b> (残事業を対象) 交通量変動：B/C=4.5 (交通量+10%) B/C=3.7 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.8 (事業費+10%) B/C=4.5 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.8 (事業期間+2年) B/C=4.4 (事業期間-2年)		
<b>事業の効果等</b> ・個性ある地域の形成（主要な観光地（世界遺産・高野地方）へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（第3次地震防災緊急事業五カ年計画において第2次緊急輸送道路に指定）		
他4項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道370号海南紀美野間改修促進協議会より、当該路線の整備促進・早期完成の要望を受けている。 （平成20年8月）		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成16年に高野地方が世界遺産登録され、将来交通量が増加することが予想され、本事業により得られる効果は大きくなっている。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得は89%が完了しており、延長4.1kmのうち2.4kmは供用済みである。残る区間については、引き続き用地取得、改良工事を推進する。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地取得は順調に進んでおり、残区間（1.7km）の工事推進を図り早期完成を目指す。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 施工にあたっては、周辺環境の保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の有効活用等、コスト縮減に努める。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。